

浜松湖北高生が地元企業取材 ブログなどで発信

従業員にインタビュー
する生徒＝浜松市北区
東三方町のアダプト

浜松市北区引佐町の浜松湖北高商業科3年生25人がこのほど、記者として地元企業を取材する授業に取り組んだ。高校生目線で魅力を発掘し、取材内容をブログや紙媒体で紹介する。生徒は、5グループに分かれて市内の5社を訪問した。同区東三方町の建設業「アダプト」を訪れた5人は、増田慎司営業部長から道路建設や災害対応などの業務

内容について説明を受け、重機の見学も行った。

従業員へのインタビューでは、仕事のやりがいや魅力、入社したきっかけなどを質問した。大森瑞希さん(17)は「建設業界は男性のイメージが強かったが、女性も活躍できることが分かった」と話した。授業は、同市中区の総合エネルギー会社エネジと協力し、2016年度から実施している。



2023年（令和5年）6月26日（月）静岡新聞